

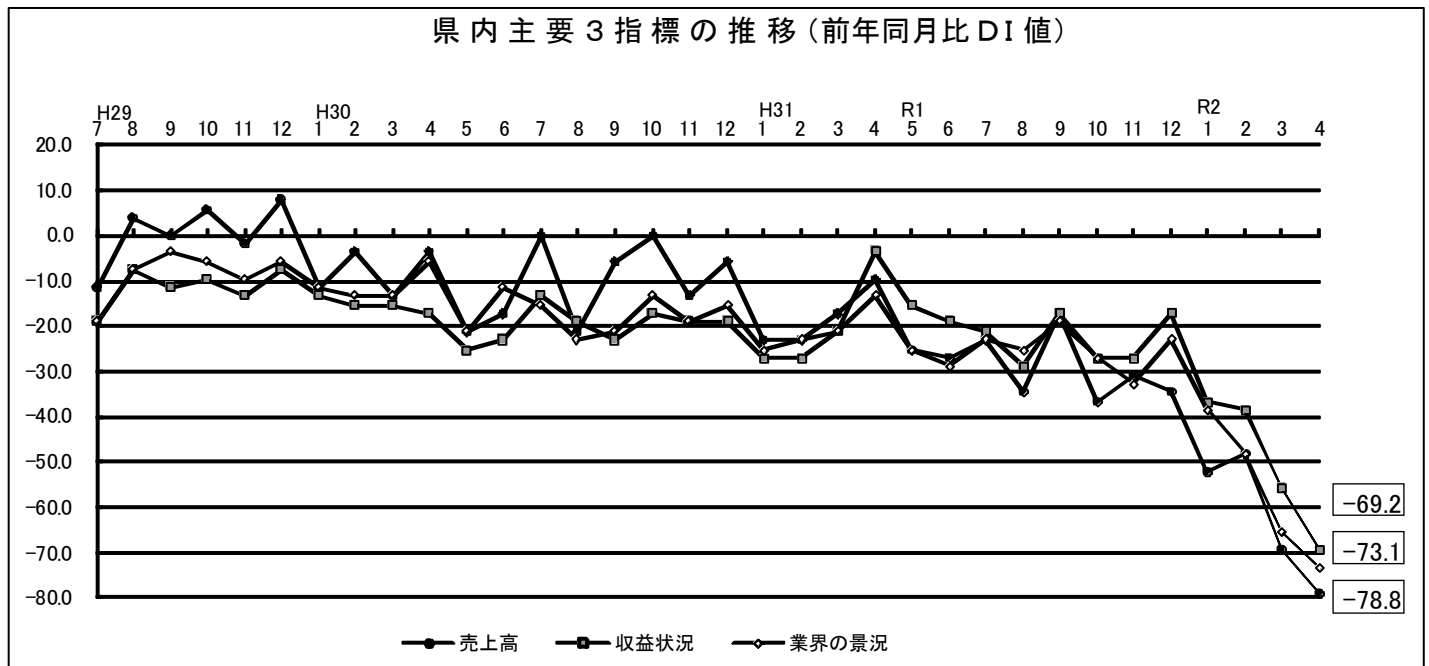
中小企業団体情報連絡員報告結果(令和2年4月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員(中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役職員5名に委嘱)による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 主要3指標全てが前月より更に悪化。平成23年(東日本大震災時)以来の厳しいマイナス状態となった。
- 大手企業の休業や生産調整、緊急事態宣言発出による外出自粛の影響から全業種的に厳しい状況。
- 新型コロナウイルス感染拡大が経済活動へ及ぼす影響が本県でも顕著に表れた。

県内主要3指標の推移(前年同月比DI値)



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上高	-78.8	-9.6	-70.4	-11.9
収益状況	-69.2	-13.4	-66.8	-9.8
業界の景況	-73.1	-7.7	-72.9	-9.7

売上高

当月の県内売上高DI値は、前月より9.6ポイント下降し、-78.8ポイントとなった。全国においては、前月より11.9ポイント下降し、-70.4ポイントとなった。

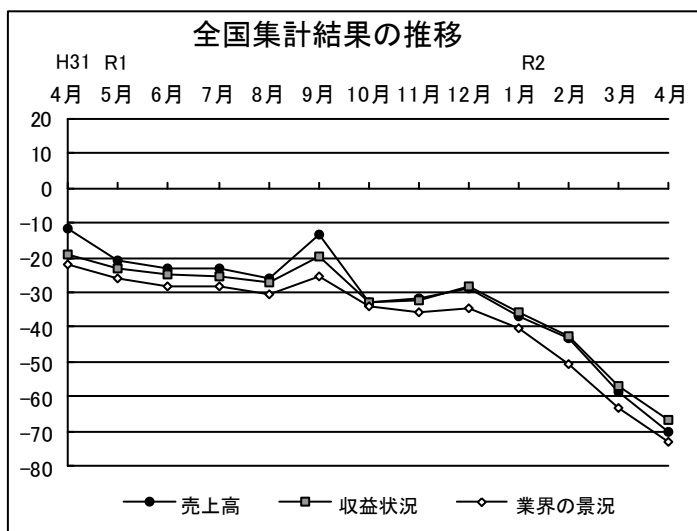
収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より13.4ポイント下降し、-69.2ポイントとなった。全国においては、前月より9.8ポイント下降し、-66.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より7.7ポイント下降し、-73.1ポイントとなった。全国においては、前月より9.7ポイント下降し、-72.9ポイントとなった。

全国集計結果の推移



-概 況-

4月の前年同月比DI値は、9指標中「販売価格」のみが上昇し、その他8指標全てが下降した。主要3指標は先月に続き全てが下降し、特に「売上高」が-9.6ポイント、「収益状況」が-13.4ポイントと悪化度合いを強め、東日本大震災発生後の平成23年4月期以来となる厳しいマイナス状態を示している。

業種別・指標別にみると、図表1のとおり、製造業では7業種中4業種、非製造業では6業種中2業種が「売上高」「収益状況」が-100.0ポイントとなり、特に深刻な状況を表している。ほぼ全ての業種で「売上高」の不振と厳しい「収益状況」となっている。製造業では、大手企業の休業や生産調整により設備操業度の悪化が多くみられ、非製造業では、緊急事態宣言の発出による外出自粛の影響で人の動きが制限され、「売上高」が大幅に悪化したとみられる。

新型コロナウイルス感染拡大が経済活動へ及ぼす影響が、本県でも顕著に表れた結果となった。製造業・非製造業共に、資金繰り悪化も大きな問題となっており、国等による各種支援策に期待を寄せる一方で、申請手続きの煩雑さや、支給までのタイムラグの解消等、改善を求める声も多く聞かれる。

図表1 【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-100.0	0.0	0.0	-50.0	-100.0	-100.0	-50.0	-25.0	-75.0
繊維・同製品	-100.0	-25.0	-25.0	-25.0	-100.0	-75.0	-75.0	0.0	-75.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	0.0	0.0	-75.0	-50.0	-50.0	0.0	-75.0
印刷	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	-100.0	0.0	-100.0
窯業・土石	-50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
鉄鋼・金属	-75.0	-50.0	0.0	0.0	-75.0	-25.0	-75.0	0.0	-100.0
一般機器	-100.0	-25.0	0.0	-25.0	-100.0	-50.0	-100.0	0.0	-100.0
製造業	-84.0	-20.0	-4.0	-20.0	-72.0	-56.0	-64.0	-8.0	-76.0
卸売業	-100.0	0.0	0.0	-33.3	-100.0	-33.3		0.0	-100.0
小売業	-100.0	-42.9	-14.3	-42.9	-85.7	-100.0		0.0	-85.7
サービス業	-66.7		-33.3	-50.0	-66.7	-66.7		-50.0	-66.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-100.0		0.0	0.0	-100.0	-50.0		-25.0	-100.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-50.0
非製造業	-74.1	-30.0	-11.1	-25.9	-66.7	-51.9		-14.8	-70.4
全体	-78.8	-22.9	-7.7	-23.1	-69.2	-53.8	-64.0	-11.5	-73.1

図表2 【指標別DI値の推移】

	4月	元年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	前月 比
売上高	-9.6	-25.0	-26.9	-23.1	-34.6	-17.3	-36.5	-30.8	-34.6	-51.9	-48.1	-69.2	-78.8	-9.6
在庫数量	-17.1	-28.6	-20.0	-20.0	-14.3	-8.6	-20.0	-14.3	-8.6	-5.7	-14.3	-5.7	-22.9	-17.2
販売価格	1.9	3.8	0.0	5.8	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	-3.8	-3.8	-11.5	-7.7	3.8
取引条件	-7.7	-3.8	-1.9	-5.8	-9.6	-9.6	-9.6	-11.5	-9.6	-11.5	-11.5	-15.4	-23.1	-7.7
収益状況	-3.8	-15.4	-19.2	-21.2	-28.8	-17.3	-26.9	-26.9	-17.3	-36.5	-38.5	-55.8	-69.2	-13.4
資金繰り	-3.8	-5.8	-7.7	-11.5	-15.4	-11.5	-19.2	-13.5	-13.5	-19.2	-17.3	-38.5	-53.8	-15.3
設備操業度	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-20.0	-20.0	-16.0	-8.0	-12.0	-24.0	-24.0	-28.0	-64.0	-36.0
雇用人員	3.8	0.0	-3.8	-5.8	-3.8	-1.9	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-1.9	-3.8	-11.5	-7.7
業界の景況	-13.5	-25.0	-28.8	-23.1	-25.0	-19.2	-26.9	-32.7	-23.1	-38.5	-48.1	-65.4	-73.1	-7.7

特記事項

情報連絡員報告（令和2年4月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	新型コロナウイルスの影響により、極めて厳しい経済状況が生み出されている。状況回復には長い時間が必要であり、国等の継続的な支援策に期待する。
あん類製造業	新型コロナウイルスの影響が大きく出た。観光地やイベントへの人の流れが止まったことで、取引先の菓子業界がダメージを受けている。
酒類製造業	新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動自粛に伴ない、飲食店や小売店での売上が激減が続く、先行きに不安しかない。一刻も早い収束を願うばかりである。
縫製業	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う全国の百貨店やショッピングセンター等が休業となった影響により、4月納品分が物流センターに積み上がり、5月以降の新たな受注が見込めない状況である。マスクの生産を始めるも大きな売上にはつながらず、また、防護服等の生産の打診はあるが、受注には至らず厳しい状況である。
外衣・シャツ製造業	新型コロナウイルスの影響が続いており、最悪の状態である。
染色整理業	新型コロナウイルスの影響により厳しい状況にあり、先行きの見通しが立たない。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	本来4月はレースの需要が高まるシーズンだが、百貨店やアパレルの動向も先行きも読めない状況だ。徐々に新型コロナウイルスの問題が終息したとしても、業界内の動きは停滞すると予想される。
家具・建具製造業	新型コロナウイルスの影響により、売上高が大幅に減少し、業況が急速に悪化している。3月まではサプライチェーンを問題としていたが、4月は受注自体が停止・減少した。この傾向は今後も拡大すると思われる。当組合所有の工場・倉庫賃貸先から賃借料の減額要請が複数発生している。
建具製造業	緊急事態宣言の影響は甚だ大きく、従業員のリモートワークや時短勤務などで対応している組合員もある。4月中旬以降の受注が大幅に減少し、5月の売上高は半減する見込みである。多くの組合員が開店休業状態となっており、厳しい業況である。
印刷業	新型コロナウイルスの感染が与える経済への影響は大きく、イベントの中止に伴うパンフレットやカタログ等の物販物、小売りにおけるチラシ自粛の動きなど、印刷物の受注は大幅な減少となり月を追うごとに悪化が予想され、結果深刻な影響を受け倒産・廃業の危機が迫ってきそうである。
石灰製造業	鉄鋼関係は減産傾向のため出荷減。肥料関係は昨年並みで推移した。建材関係は新型コロナウイルスの影響で動きが鈍いが、徐々に回復傾向にある。全体的には鉄鋼向けの減少が大きく影響している。
砕石製造業	2019年度（4月～3月）の出荷量は、15,764,034トンであり、昨年同期比3.4%減で推移した。
陶磁器製造業	新型コロナウイルスの影響により、観光客が減少し、民芸店が休業となっている。また春の陶器市も中止となってしまった。
金属製品製造業	新型コロナウイルスの影響により、自動車メーカーが生産中止となったことに伴い、減産となった。また、家電関係は生産調整が見られ、エアコンは例年夏場前に増産していたが、現状動きはない。
金属製品製造業	新型コロナウイルスによる売上低下・人件費増加や人手不足により、自動車部品関連・機械設備関連・プレス金型関連いずれも悪化した。
一般機械器具製造業	新型コロナウイルスの影響を受けて休業する組合員が数社出てきた。雇用調整助成金の手続きが簡略化されたが、まだまだ煩雑で、支給までに時間がかかり過ぎることが問題である。早急に対応してもらわなければ死活問題となる。
一般機械器具製造業	前年同月と比較し、今月も売上高の減少、収益状況も悪化傾向となっており、資金繰り状況が悪化傾向の企業も増えている。新型コロナウイルスによる影響と思われるが、今後の日本経済への影響懸念が心配となっており、引き続き注意深く対応していきたい。
一般機械器具製造業	昨年は大型10連休の影響で稼働率が減少し、売上高も減少したが、今年は新型コロナウイルス感染防止対策として生産体制を2班体制に分け出勤と在宅勤務の交代出勤に変更したため、1日の生産量が半減した。県の5月11日以降の対応策の緩和に合わせ、生産体制の見直しを検討中。
化粧品卸売業	新型コロナウイルスの影響により、業績が悪化している。

各種商品卸売業	新型コロナウイルスの影響により、一部組合員に売上高減少や収益状況悪化がみられる。緊急事態宣言を受けて、組合員に対して感染防止対策に関するアンケートを実施した結果、テレワークや交代制勤務を実施する企業が9社、時差出勤を行う企業が3社あった。しかし、多くの組合員は通常勤務体制であった。
各種商品卸売業	新型コロナウイルスの影響により、各業種とも業績悪化が顕著である。
食肉小売業	新型コロナウイルスの影響により、ホテル、レストラン、サービスエリア、学校、居酒屋等が休業となり、売上高が激減している。今後の見通しが立たない状況である。
中古自動車小売業	コロナ禍の影響が出て来た。新車は部品供給不足で工場が稼働せず、来場者は外出自粛で少なく売上が減少した。中古車相場は、輸出も止まり買手が減少しており、大幅な下落となった。
各種商品小売業	新型コロナウイルス感染拡大防止協力のため、多くの店舗が時短営業や休業要請への対応を実施し売上高減少となった。場合によっては、売上高が50%から80%減の店舗もあると予想される。
各種商品小売業	緊急事態宣言による営業自粛・時間短縮に伴い、売上高は大幅に減少した。いつまで耐えられるか不安を感じる。
花・植木小売業	新型コロナウイルスの影響により、冠婚葬祭や人が集まる催し物は軒並み中止・延期・縮小した。個人消費も低迷し、花の需要は大きく減少している。例年4月から5月は花屋の繁忙期となり、来月は期待の大きな「母の日」もあるが、収束時期が見通せない中、今後の対応に苦慮する。
理容業	新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少しつつある。マスク着用、店内消毒を行っているので安心して来店頂けるように、何らかの手段をとり、顧客に周知出来ればと具体策を考えている。
自動車整備業	活動自粛による、入庫台数減少により、売上高は減少傾向にある。今後の先行きにも不安を感じる。
旅館・ホテル	新型コロナウイルスの影響により、宿泊関係は壊滅的な状況である。宴会関係は99%ダウン、飲食店関係は85%ダウンとなった。緊急事態宣言により、今後の業績は更に悪化することが確定的である。
ビルメンテナンス業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、宅配関連の物流業務は増え、増収傾向にある。清掃、廃棄物処理の業務についても手堅く推移している。
給食センター	新型コロナウイルスの影響で、売上高が昨年度より大幅に減少した。雇用の確保、事業継続をするためのキャッシュフローは、県の制度融資でやりくりしている。しかし、新型コロナウイルスの問題が収束せず、このまま続けば収益状況や資金繰りも危うい。
一般土木建築工事業	新型コロナウイルスの影響により、一部に納品の遅れが生じている。
内装工事業	新型コロナウイルスの影響により、一部で進行中の現場作業が止まっているケースが見受けられる。再開日程が明確でなく、先行き不安を感じる。
一般貨物自動車運送業	新型コロナウイルスの影響が大きく、荷量も減少傾向にある。
貨物軽自動車運送業	新型コロナウイルスの影響により、荷主の多くが休業やテレワークになり、通常の仕事量は減少した。しかし、マスク・アルコール・フェイスシールドや食料品の配達需要は増えており、助けられた部分がある。
一般乗用旅客自動車運送業	新型コロナウイルスの影響により、街中が閑散としタクシーの利用者は例年の10分の1ほどに激減している。仕事に出ても売上が皆無の日もあるため、多くの事業者が休業している状況である。
大谷石採石業	新型コロナウイルスの影響は、今のところ出ていない。